

2020年度 須磨学園夙川中学校入学試験

国 語

第 1 回

(注 意)

解答用紙は、この問題冊子の中央にはさんであります。まず、解答用紙を取り出して、受験番号シールを貼り、受験番号と氏名を記入しなさい。

1. すべての問題を解答しなさい。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 字数制限のある問題については、記号、句読点も1字と数えること。
4. 試験終了後、解答用紙のみ提出し、問題冊子は持ち帰りなさい。

学校法人 須磨学園 夙川中学校

※この冊子は再生紙を使用しています。

【一】 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

みなさんは、学校とか先生とか親たちとかに対して、いろいろな不満をもっている。不満をもっているし、ときには怒りや悲しみももっている。また友だちに対しても、不満をもつこともあるし、怒りを感じることもあるし、友だちが信じられない悲しみをもつことがある。そのために絶望したり、生きていることがいやになったりしてしまうこともある。

【X】 不満をもったり、怒りをもったり、人が信じられない悲しみに打ちのめされてしまったりすることは、すこしもむだなことではない。不安をもったり、どうにもならない怒りをもったり、絶望的な悲しみをもったりすることによって、人や世のなかのさまざまな姿をみることができし、堪えていく力を自分のなかにつくり出すことができるからだ。

不安とか怒りとか悲しみとかのなかには、努力することによって解決するものもあるが、自分ひとりだけではどうにもならないものもある。ただ自分ひとりだけで、堪えたり悲しんだりしているだけのものもある。けれどもそういうものも、人生の経験としてなくてはならない。そういう悲しみを持つことによって、堪えていく力がつくばかりでなく、人間としての幅とか深さとかを持っていくことができるからだ。【Y】、これから先の長い生涯のなかで、より強い怒りとか悲しみとかにあったときに、堪えぬいたり、冷静に自分の道をきりひらいていくこともできるからだ。

私の少年のころは、怒りよりも【Z】 悲しみのほうが多かった。それらの多くは、私の家がマスシかったことと、私がかもからでも弱い、いくじのない人間だったからだ。

小学校一年生のときのことである。授業のはじまる鐘がなると、そのころは生徒はみんな教室の廊下へ二列縦隊にならんで、それから先生のさしずで教室へはいつていくのだったが、先生がまだこないときに、私はひとりの力の強い同級生に、後ろから床の上に不意にたたきつけられてしまった。いたく起きて上がれずにいると、先生が来た。そして「こんなところに寝ている」と、ひどくしかられてしまったことがあった。

私はそのとき、なんの説明もできないようないくじのない子どもだった。だから先生はジジョウがわからないで、私だけをしかってしまったのだが、私はそのときの悲しみが、いまでも心の底に深く残っている。先生をうらむとか、同級生をうらむとかいう気持はすこしもないのだが、悲しみだけはキスあとのように残っている。そしてそういう記憶があるからこそ、どんな場合でも事実を正確に見なければいけないという気持も、強く持つようになったのだ。

私は小学校のころは運動会が恐ろしかった。できれば運動会がなくなってくればよいと思ったし、運動会するときにはどこかへ逃げていってしまいたいと思ったりした。それは運動会での走りっこのとき、私はいつもびりになつてしまふからだった。

そんなとき、まわりでみている親たちのなかからは、いつも大きな笑い声が起こった。私の走るのがあまりにもろいし、ぶぎ

まだし、人からも離れすぎていたので、大笑いされているのだが、その声聞きこえるだけに私は恥ずかしくてならなかった。小学校を卒業してからは私の足はなおり、走りっこの選手などにもなったが、小学校での運動会は、楽しいどころか、私にとっては悲しみと屈辱だけだった。

私は少年期のそういう悲しみを心の底にもちながら、またもつていたからこそ、どんな苦しみにも堪え、そのときどきに精いっぱい生きようとしてきたのである。

人間はだれでも、深い悲しみとか、怒りとかを心の底に持って、それに堪えながら仕事をしたり勉強をしたりするようでないとはんとうに沈潜した仕事や勉強はできないようである。ふわふわしてしまつて、落ちついた仕事もできないし、勉強もできないし、能力もつくり出すことができないようである。不遇な人とか、病気の人がアンガイにいい仕事をし、すぐれた能力を出していることが多いのも、そういうことに原因があると思つてもよいことである。

みなさんのなかにも、おそろく深い悲しみを持つている人がいるかもしれない。親の職業を心ない人たちにばかにされて、悲しんでいる人がいるかもしれない。顔かたちを人に笑われて、悲しむ人がいるかもしれない。

けれどもそういう人たちも、あきらめてしまふ必要はない。そういう条件を逆につかつて、ほかの人にはない、自分のよいものをつくり出すことはいくらでもできるからだ。

(斎藤喜博『君の可能性』による)

注1 屈辱……相手の権力や勢力におさえつけられて、はずかしい思いをさせられること。

注2 沈潜……深く考えること。

注3 不遇……才能や実力がありながら、それにふさわしい評価や待遇を受けられないこと。

一の設問

問一 線部 a e のカタカナは漢字に、漢字は読みがなに直しなさい。

問二 「X」～「Z」に入れるのに最も適当な語を次の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。ただし、同じ語を二度使ってはいけません。

- 1 また 2 むしろ 3 たとえば
- 4 つまり 5 もし 6 しかし

問三 「いろいろの不満をもっている。不満ももっているし、ときには怒りや悲しみももっている」(線部ア)について答えなさい。

(1) 不満や悲しみをもつことについて、筆者はどのように考えていますか。筆者の考えとして最も適当なものを次の中から二つ選び、番号で答えなさい。

- 1 不満や悲しみをもつても、努力することによってたいいていのは解決する。
- 2 不満や悲しみをもつて人が信じられなくなっても、それはむだなことではない。
- 3 不満や悲しみをもつと、必ず人生に絶望し生きることがいやになってしまう。
- 4 不満や悲しみには自分一人ではどうにもならないものもあるが、人生の経験としてなくてはならない。

(2) 筆者は、不満・怒り・悲しみをもつことで得られるものがあるといっています。そのことを説明したもので**適当でないもの**を次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 堪えていく力だけでなく、人間としての幅や深さをもつていくことができる。
- 2 悲しむことがあっても、冷静に自分の道をきりひらくことができるようになる。
- 3 人や世の中のさまざまな姿をみることができ、堪えていく力が作られる。
- 4 悲しみを経験することで、経験していない人よりずっと良い仕事ができる。

問四 「不意に」(線部イ)の語句の意味を次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 急に 2 無理に 3 同時に 4 真剣に

問五 『「こんなところに寝ている」と、ひどくしかられてしまったことがあった」(線部ウ)とありますが、先生にしかられたことで学んだことは何ですか。本文中から「ということ」に続くように、二十二字で書き抜きなさい。

問六 「そういうこと」(線部エ)が指し示す内容として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 不遇な人や病気の人がよい仕事をし、すぐれた能力を出していることが多いこと。
- 2 落ち着いた仕事や勉強ができないし、能力もつくり出すこともできないこと。
- 3 深い悲しみや怒りを心の底に持ち、それに堪えながら仕事や勉強をすること。
- 4 人はだれでも、深い悲しみとか、怒りとかを心の底に持っていること。

問七 「けれどもそういう人たちも、あきらめてしまう必要はない」(線部オ)とありますが、筆者の言いたいことは何ですか。「そういう人たち」がわかるように明記して、六〇字以内で説明しなさい。

問八 「おそらく」(線部イ)「悲しみ」(線部II)「いる」(線部III)の品詞名を次の中から選び、番号で答えなさい。

- 1 名詞 2 動詞 3 形容詞 4 副詞
- 5 助詞

問九 悲しみや喜びなどの四つの感情を表した四字熟語を次の空らん本文中の一字を抜き出して入れることで完成しなさい。ただし、解答用紙には空らんの一字だけ答えなさい。

喜 () () 哀 楽

二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

千波は、一、二年とも前後期全て、図書委員を務めていた。

二年の後期、千波は委員長八木の補佐をしながら、副委員長としての仕事を目いっぱいやってきた。それまでは、貸し出し当番など、割り振られた仕事をきちんとこなしてきただけだったが、八木君は、次から次へといろいろな問題を提起した。

図書委員としての仕事は増えたが、先生方からも感謝されて、それまで以上にやりがいも出てきたし、図書委員の仕事に燃えるようになった。

そうやって、みんなで相談を重ねて、実際にうまくスタートさせたものもあったし、スタートまでもっていけないものもあった。まだ途中段階でストップしているものは、三年になってからも継続して議論を重ね、試行錯誤しながら、実現にもっていかれた。そして、ちゃんと軌道にのせたとこで、次の二年生にバトンタッチしたいと考えていた。そのためには、三年A組で図書委員に選出されないことには、どうにもならない。

そうして迎えた委員決めの日だった。いつもの千波なら、のんびりと推薦してくれるのを待っていただろう。でも、そんなことをしている間に、誰かが立候補してしまうかもしれない。今回に限っては、自分で立候補しようと、千波は決心していた。でも、始まってみないと、気弱な自分が、本当に立候補できるかどうかわからない。千波は、学級会が始まってから、ずっとドキドキしていた。

最初に、男女二人のクラス委員を選出する。その他の委員は、新クラス委員が議事進行をして決めてゆくことになる。

三年A組の女子クラス委員は、澄香と早川和美が推薦されて争い、二票差で早川さんに決まった。

澄香を推薦したのは、同じ六人グループの緑だった。緑がすつと手をあげて、澄香をクラス委員に推薦した時、千波は本当なら、自分が推薦してあげるべきだったかなと思った。

おそらく、それは当たっていただろう。学活が終わった後、澄香のもとに駆け寄った緑に、澄香は「すかさずこういったからだ。」「緑、推薦してくれてありがとう。すごく嬉しかったよ。」「残念だったね。」「あとちょっとだったのに。」「

「あやや風子は、小声でそういったが、千波はそういう時に何かをいうのが苦手で、黙っていた。すると、澄香は亜矢に向かって、こういった。

「亜矢さあ、委員になんなくてよかったじゃん。三年生はもう受験勉強だってあるし、部活だってがんばらなきゃいけないし、余計な委員会活動なんてやらないですめば、その方がいいんだよ。」亜矢は風子から図書委員に推薦されたのに、自分からおりてしまったのだ。

他の委員決めが始まった時、千波は思いきって真っ先に手をあげる。

「あの、図書委員に立候補します。」

といった。ほんとうに心臓が破裂しそうで、**I** が上ずってしまったほど緊張した。

ところが、千波とほとんど同時に、手をあげた人がいたのだ。風子だった。風子は、千波の後、

「図書委員に佐々木亜矢さんを推薦します。」

千波はそれを聞くと、驚いて頭にカーッと**II** が上った。まさかそんなことが起こるなんて、夢にも思っていなかった。亜矢と風子はとても仲がいい。ということはおそらく、おそろく亜矢が、図書委員になりたいので推薦してと風子に頼んだのだろう。

でも、一体どうして……。亜矢は二年生の時も図書委員だったけれど、貸し出し当番の時など、サボってばかりいた。誰が見たって、あまり熱心に活動しているようではなかった。

それなのに、三年生でもう一度図書委員をやりたいなんて、亜矢の真意がつかめなかった。委員は義務ではないのだ。やりたくない人はやらなくてもいいものなのに。

図書委員はやりたい。だけど、亜矢にしろ、他の誰にしろ、票を争ってまでやりたいとは思わなかった。争って、どちらかが気まずい思いをするくらいなら、図書委員をやらずにガマンする方がましだ。

千波も、亜矢と同じように推薦されていたのだとしたら、迷うことなくおりにいただろう。でも、千波は自らすすんで立候補したのだ。立候補しておいて、すぐにおりるといいうのも無責任な気がして、困ってしまった。

「それでは、まず図書委員から、投票で決めたいと思います。」その時だった。亜矢がすばやく手をあげて、いったのだ。

「あのう、せっかく推薦してもらったのだけど、私おりますので、図書委員は長谷川千波さんをお願いします。」

千波と亜矢の他に、図書委員候補はいなかった。そして、千波がぼかーんとしている間に、念願の図書委員に決まった。けれど、そのことを喜ぶよりも、亜矢に対して申し訳ないことをした、という気持ちの方が強かった。

さらに、澄香が亜矢に対していった、「委員になんなくてよかった」という言葉を聞いた時、千波は自分が暗に批判されたような気がした。図書委員になったことを、快く受け入れられていないのを感じた。千波に一言も声をかけなかったのが、その証拠のように思われた。

千波は、後で亜矢に、
「ゴメンね。ありがとう。」
とこつそりいった。

「ううん。そんなこと全然気にしないでよ。」
と口づけてくれた。

澄香もその日の放課後、何もなかったように、
「千波、部活に行こっ。」
と誘ってきた。

千波はそれで少しはホッとしたものの、心の中はすっきりと晴れなかった。

(三) 輪裕子『優しい音』による

二の設問

問一 「試行錯誤」(——線部 a)の本文中での意味として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 変化に応じて、適切な行動をとること。
- 2 失敗を重ねて、正しいものに近づくこと。
- 3 こつこつと苦労を重ね、努力すること。
- 4 良いものは選び取り、悪いものは捨てること。

問二 ——線部 b、c について、正しい意味で使用した例として最も適当なものを後から一つずつ選び、番号で答えなさい。

- b** 「軌道にのせた」
- 1 友達が先生を軌道にのせて僕を注意した。
 - 2 脱線した列車を再び軌道にのせた。
 - 3 おかしをあげて彼を軌道にのせた。
 - 4 事業を軌道にのせたのは彼の功績だ。
- c** 「すかさず」
- 1 いつも通りすかさず彼は来ないだろう。
 - 2 期間限定と知ってすかさずそれを予約した。
 - 3 今年こそはすかさず海外旅行がしたい。
 - 4 木の枝の間をすかさず切るのは難しい。

問三 「今回に限っては、自分で立候補しようと、千波は決心していた」(——線部ア)とありますが、なぜですか。その理由を説明したものとして最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 中学校生活最後の委員決めくらいは自分から立候補して図書委員になろうと初めから決めていたから。
- 2 図書委員長の八木君という、自分の力になってくれる心強い存在を失いたくないと感じているから。
- 3 副委員長を務めた図書委員の仕事にやりがいを感じ、その上やり残した仕事もあるので、委員を継続したいから。
- 4 二年生の図書委員にうまくバトンタッチすることが気弱な自分の性格を変えるチャンスになるから。

問四 「まさかそんなことが起こるなんて、夢にも思っていなかった」(——線部イ)とありますが、千波はなぜそう思ったのですか。その理由の説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 図書委員の仕事に熱心にしなかつた亜矢が推薦されたので、立候補した千波にとっては、想定外だったから。
- 2 千波が亜矢を図書委員に推薦しようと思っていたにもかかわらず、風子に先をこされてしまったから。
- 3 風子がやりたくないといっている亜矢を図書委員に推薦し、千波の邪魔をしようとしたことに気づいたから。
- 4 立候補者は千波一人だと思っていたのに、風子が亜矢と一緒に立候補して、思いがけず三人で争うことになったから。

問五 **I**、**II** に入る語を、漢字一字でそれぞれ答えなさい。

問六 「困ってしまった」(——線部ウ)とありますが、ここには「千波」のどのような気持ちが表れていますか。六〇字以内で答えなさい。

問七 「千波は自分が暗に批判されたような気がした」(——線部エ)とありますが、どういうことですか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 亜矢を図書委員に推薦するのを、千波が立候補することで邪魔したことに、澄香が腹を立てていると感じたということ。
- 2 千波が図書委員になったので、亜矢を推薦した風子と亜矢の関係が悪くなったと澄香にいわれたと感じたということ。
- 3 立候補するのに気を取られ、澄香をクラス委員に推薦するのを忘れていたことを責められたように感じたということ。
- 4 澄香が亜矢に委員にならなくてよかったといったのは、立候補して委員になった千波への否定だと感じたということ。

問八 「千波」はどのような人物として描かれていますか。その説明として最も適当なものを次の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 友人と交わした約束を果たすためなら、たとえ自分が犠牲になってもかまわないと思うほど友情に厚い人物。
- 2 人の気持ちがあつたように変わったとしても自分の味方になってくれるまで待つ我慢強さを持った人物。
- 3 自分に与えられた役割に情熱を向ける気持ちはある一方、人の目を気にし、人と争うことを好まない人物。
- 4 人と積極的にかかわろうとはしないが、自分のやりたいことについて意見をおし通す強引な面がある人物。

↓ここにシールをはってください↓

受験番号			

名前	
----	--

2020年度 須磨学園夙川中学校 第1回入学試験解答用紙 国語

※	※	※				※	※				※	※	※	※	
問九	問八	問七				問六	問五				問四	問三	問二	問一	
	I	<div style="border: 1px dashed black; width: 100%; height: 100%;"></div>					<div style="border: 1px dashed black; width: 100%; height: 100%;"></div>					1	X	d	a
	II											Y	e	b	
	III											2			
												Z		c	

とらぶりと

(※の欄には、何も記入してはいけません)

一

※

※	※	※				※	※	※	※	※	※	二	
問八	問七	問六				問五	問四	問三	問二	問一			
		<div style="border: 1px dashed black; width: 100%; height: 100%;"></div>				I			b				
						II							
											c		

(※の欄には、何も記入してはいけません)



※

※
